

「防災基礎」コース

赤字：H30年度（第2期）からの変更箇所

【各講義の内容と学習目標】

日程と講義名		手法	単元の概要	学習目標
9月5日 (木)	1限目 09:30~10:45	座学	防災・危機管理の基本的な考え方を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 防災・危機管理の基本的な考え方を説明できる。
	2・3・4限目 11:00~12:15 13:15~14:30 14:45~16:00	座学	ハザードのメカニズムと災害による被害や防災対策を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 風水害のメカニズムとその被害について説明できる。 風水害の防災対策の概要について説明できる。 火山のメカニズムとその被害について説明できる。 火山災害の防災対策の概要について説明できる。 地震と津波のメカニズムとその被害について説明できる。 地震災害と津波災害の防災対策の概要について説明できる。
	5限目 16:15~17:30	座学	人的被害の実態や地域を知ることの重要性を理解し、防災情報に基づく避難のあり方について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害による人的被害の実態について説明できる。 地域の災害特性を知ることの重要性について説明できる。 災害情報の種類や特性、情報を活用した避難のあり方について説明できる。
9月6日 (金)	1・2限目 09:30~10:30 10:45~12:15	座学	防災活動全体の流れと個々の活動の基本的な知識とともに、災害対策基本法・災害救助法などの災害関連法の体系や防災計画の概要を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 防災活動全体の流れについて説明できる。 防災活動の概要について説明できる。 災害対策基本法の概要について説明できる。 その他主要な法律の概要について説明できる。 防災基本計画の内容を説明できる。 その他防災計画の概要について説明できる。
	3・4限目 13:15~14:30 14:45~16:00	演習	災害発生前後の地方公共団体の対応について具体的な事例に沿って学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 災害対応過程と態度についての具体的な事例に沿って説明できる。
	5限目 16:15~17:15	演習	防災力アップのため、災害対応の基本について学んだことを、受講者が担当する業務にどのように反映させるのかを考える。	<ul style="list-style-type: none"> 研修受講の目的を再認識する。 研修を通じて、学び、得たものを整理する。 研修を活かして次につなげることを認識する。

防災スペシャリスト養成研修（有明の丘） 令和元年度 第1期
「災害への備え」コース

赤字：H30年度（第2期）からの変更箇所

【各講義の内容と学習目標】

日程と講義名		手法	単元の概要	学習目標
9月10日 (火)	1限目 09:30～10:45	「災害への備え」総論	座学 自助・共助・公助による 災害への備え の基本的な考え方 や対策 を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・災害予防の防災の中の位置づけ及び主な内容を説明できる。 ・災害予防における自助、共助、公助の意味と共助の重要性を説明できる。 ・防災における民間主体との連携のあり方を説明できる。 ・代表的な被害抑止対策について説明できる。
	2限目 11:00～12:15	「災害への備え」 としての 地域防災計画	座学 地域防災計画、地区防災計画 等 をどのように災害の備えに向けて活用するのかを学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災計画の目的と概要を説明できる。 ・地区防災計画の目的と概要を説明できる。 ・地域防災計画等を有効に活用する方策について説明できる。
	3限目 13:15～14:30	防災教育・災害教訓 の伝承	座学 地域に根差した防災活動を 進める ための防災教育および災害教訓の伝承について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・防災教育の意義と基本的な方法を説明できる。 ・学校教育又は課外活動における防災教育の具体的な事例を説明できる。 ・地域コミュニティ向けの防災教育の具体的な取り組み事例を説明できる。 ・災害教訓の伝承の意義と具体的事例を説明できる。
	4限目 14:45～16:00	企業防災	座学 企業が災害時に果たすべき役割を認識し、企業と行政が連携した防災活動について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・指定（地方）公共機関である企業の防災での役割と行政との連携を説明できる。 ・災害対応における企業の役割を説明できる。 ・災害協定の重要性と協定締結状況を説明できる。 ・企業の事業継続計画（BCP）の意義と特徴を説明できる。
	5限目 16:15～17:30	「災害への備え」 ワークショップ	演習 自助・共助・公助による 災害への備え の推進 方策 についてワークショップ形式で学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・所属団体の減災対策（災害予防）における自助、共助の促進策についての議論ができる。 ・民間部門との連携のあり方についての議論ができる。
9月11日 (水)	1限目 09:30～10:45	行政のBCM	座学 行政におけるBCMの意味と策定のポイントについて学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・行政のBCP、BCMの意義と必要要素を説明できる。 ・重要業務に不可欠なリソースの確保の重要性と主な方法を説明できる。 ・訓練、維持管理、見直しの重要性とマネジメントを説明できる。
	2限目 11:00～12:15	住民啓発	座学 住民向けの防災の啓発の基本的な事項 および具体例 について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の防災の責務と啓発の意義を説明できる。 ・住民啓発の方法を説明できる。 ・住民啓発の留意点を説明できる。
	3限目 13:15～14:30	地域の自主的な防災活動	座学 住民の自主防災組織の 意義・役割と行政による推進策 について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の目的と制度概要について説明できる。 ・自主防災組織に期待される役割と現状、課題について説明できる。 ・地域の他の自主的な防災団体の役割と現状、課題について説明できる。 ・地域の防災訓練の意義と基本的な方法について説明できる。
	4限目 14:45～16:00	災害ボランティア	座学 災害ボランティアの 意義・役割と行政との連携 について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティア及びその活動の位置づけ・種類・特徴を説明できる。 ・災害ボランティアの受入れ・調整に関する現地での仕組みを説明できる。 ・災害ボランティアの活動の実際と課題、展望を説明できる。
	5限目 16:15～17:15	全体討論	演習 災害への備え について学んだことを、受講者が自らの 組織 でどのように反映させるのかを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・研修受講の目的を再認識する。 ・研修を通じて、学び、得たものを整理する。 ・研修を活かして次につなげることを認識する。

防災スペシャリスト養成研修（有明の丘） 令和元年度 第1期

「警報避難」コース

赤字：H30年度（第2期）からの変更箇所

【各講義の内容と学習目標】

日程と講義名		手法	単元の概要	学習目標	
9月12日 (木)	1限目 09:30~10:45	警報避難総論	座学	警報避難対策の基本的な考え方と事前対策を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 警報等の伝達及び避難誘導の目的、実施主体と役割について説明できる。 警報等の伝達及び避難勧告等の判断・伝達の流れについて説明できる。
	2限目 11:00~12:15	警報等の種類と内容	座学	警報等の種類と内容、伝達を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 注意報と警報、特別警報の意義付けと意味について説明できる。 警報等の入手方法と伝達にかかる主体について説明できる。
	3限目 13:15~14:30	避難勧告等の判断・伝達	座学	避難勧告等の判断と伝達方法について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 住民等の避難行動の考え方について説明できる。 避難準備情報や避難勧告等の判断に必要な考え方について説明できる。 避難勧告等を住民に伝達し、周知するための伝達方法について説明できる。
	4限目 14:45~16:00	土砂災害における警報と避難	座学	土砂災害における警報と避難の実務について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 土砂災害における警報と避難の実務について説明できる。
	5限目 16:15~17:30	土砂災害の事例に学ぶ	演習	土砂災害の事例から土砂災害における警報と避難について、その実態を演習形式で学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 土砂災害における警報と避難の難しさを説明できる。 土砂災害における警報と避難の決心ポイントを説明できる。 土砂災害における警報と避難におけるスネークラインの活用を説明できる。
9月13日 (金)	1限目 09:30~10:45	風水害における警報と避難	座学	風水害における警報と避難の実務について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 風水害における警報と避難の実務について説明できる。 水害時における災害対応の難しさを説明できる。
	2限目 11:00~12:15	風水害からの警報避難における決心	演習	風水害における警報と避難の決心ポイントを演習形式で学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 風水害・土砂災害の予兆現象の活用について説明できる。 風水害・土砂災害における警報と避難の困難性について説明できる。 風水害・土砂災害における警報と避難の決心ポイントを説明できる。
	3限目 13:15~14:30	風水害におけるタイムライン計画	演習	風水害における警報と避難のタイムライン計画の作成方法を演習形式で学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 風水害における警報と避難のタイムライン計画の作成方法について説明できる。 外部／内部調整をタイムラインで整理する方法を説明できる。
	4限目 14:45~16:00	避難場所・避難所の認定と適否判断	座学 演習	住民等の避難行動の目的となる避難場所・避難所の種類とその設置要件及び災害ごとに避難場所・避難所の適否判断をするうえでの行動を演習形式で学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 避難場所・避難所の種類と内容について説明できる。 避難場所・避難所の認定の方法について説明できる。 風水害で被災した避難所の事例を説明できる。 避難場所・避難所の適否判断の基本的な考え方について説明できる。 避難場所・避難所の適否判断を適切に行うためのポイントを説明できる。 過去災害を事例とした避難所の適否判断を行う。
	5限目 16:15~17:15	全体討論	演習	防災力アップのため、警報避難について学んだことを、受講者が担当する業務にどのように反映させるのかを考える。	<ul style="list-style-type: none"> 研修受講の目的を再認識する。 研修を通じて、学び、得たものを整理する。 研修を活かして次につなげることを認識する。

防災スペシャリスト養成研修（有明の丘） 令和元年度 第1期
「応急活動・資源管理」コース

赤字：H30年度（第2期）からの変更箇所

【各講義の内容と学習目標】

日程と講義名		手法	単元の概要	学習目標	
10月8日 (火)	1限目 09:30～10:45	応急活動・資源管理総論	座学	応急活動の流れと資源管理に関する基本的な考え方について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 応急活動の流れと業務の概要について説明できる。 ・ ロジスティクスの考え方について説明できる。 ・ 応急活動と求められる資源管理について説明できる。
	2限目 11:00～11:45	初動対応における 国との連携	座学	国における初動対応の内容とその連携のあり方について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 政府の初動対応について説明できる。 ・ 具体的な応急対策活動に関する計画について説明できる。 ・ 政府と被災地方公共団体との連携について説明できる。
	3限目 11:45～12:15 13:15～14:30	地方公共団体間の 相互応援と受援体制	座学	災害時の行政機関の間で行われる応援受援の仕組みと受援計画について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 応急活動の実施にあたっての行政職員の確保の重要性を説明できる。 ・ 行政機関の間で行われる応援受援の仕組みを説明できる。 ・ 行政機関の応援受援を円滑に行うための留意点を説明できる。
	4限目 14:45～16:00	災害廃棄物処理	座学	被災地における資源確保の例として、災害廃棄物の撤去・処理の進め方と留意点を事例に基づき学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害廃棄物処理の概要を説明できる。 ・ 災害廃棄物処理における資源管理と応援受援を説明できる。
	5限目 16:15～17:30	資源管理演習	演習	災害対策本部における資源（人的、物的、空間・サービス）の確保、管理における留意点などを演習形式で学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な機関と連携して業務を実施する際の課題解決のための着眼点を説明できる。 ・ 応急活動を効果的に実施するために求められる活動拠点等を確保するうえでの着眼点を説明できる。
10月9日 (水)	1限目 09:30～10:45	救援物資の調達	座学	救援物資の調達に関する実務と課題について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 救援物資の民間企業・団体からの調達の実態について説明できる。 ・ 救援物資を民間企業・団体から円滑に調達するための留意点を説明できる。 ・ 救援物資を民間企業・団体から円滑に調達するための備えを説明できる。
	2限目 11:00～12:15	救援物資の輸配送	座学	救援物資の輸配送に関する実務と課題について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 救援物資の輸配送の実態について説明できる。 ・ 救援物資の輸配送を民間企業・団体と連携して行う際の留意点を説明できる。 ・ 救援物資の輸配送を円滑に行うための事前の備えを説明できる。
	3限目 13:15～14:30	活動拠点・環境の確保	座学	応急活動を行うために必要となる活動拠点や通信サービス等の確保について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動拠点・環境の確保のための事前準備について説明できる。 ・ 災害発生時において、応急活動を行うために求められる空間確保（道路網、活動拠点等）について説明できる。 ・ 災害発生時において、応急活動を行うために求められるサービスの確保（燃料等）について説明できる。
	4限目 14:45～16:00	救援物資 ロジスティクス演習	演習	救援物資の調達から輸送・保管・配布における留意点などを演習形式で学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 救援物資の調達業務の流れと留意点を、具体的に説明できる。 ・ 救援物資の倉庫業務の流れと留意点を、具体的に説明できる。 ・ 救援物資の輸配送業務の流れと留意点を、具体的に説明できる。
	5限目 16:15～17:15	全体討論	演習	防災力アップのため、災害時の物資物流と広域的な応援体制について学んだことを、受講者が担当する業務にどのように反映させるのかを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修受講の目的を再認識する。 ・ 研修を通じて、学び、得たものを整理する。 ・ 研修を活かして次につなげることを認識する。

【各講義の内容と学習目標】

日程と講義名		手法	単元の概要	学 習 目 標
9月26日 (木)	1限目 09:30～10:45	被災者支援総論	座学 被災者支援の実態と被災者支援の全体像を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 被災者の状況を説明できる。 被災者の全体像の状況を説明できる。 多様な主体による多様な支援の実態を説明できる。 生活再建支援業務を説明できる。
	2限目 11:00～12:15	災害救助法と生活再建支援法	座学 被災者支援における災害救助法と生活再建支援法の位置づけや手続き、適用事例を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 災害救助法の概要を説明できる。 災害救助法の各制度を説明できる。 災害救助法の適用事例を説明できる。 生活再建支援法の概要を説明できる。 生活再建支援法の各制度を説明できる。 生活再建支援金の事務手続きを説明できる。
	3限目 13:15～14:30	避難所のライフサイクル	座学 避難所のライフサイクルを学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 平時における避難所の運営体制を知る。 避難所の運営を知る。 避難所における特別なニーズへの対応を知る。 避難所の解消を知る。
	4限目 14:45～16:00	避難所運営の実際	座学 事例を基に避難所運営の実際を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 避難所のライフサイクルの事例を説明できる。 災害時要配慮者のための避難生活支援の事例を説明できる。 多様な主体による被災者支援の事例を説明できる。 被災者支援の個別課題の事例を説明できる。
	5限目 16:15～17:30	避難所のライフサイクル（演習）	演習 避難所のライフサイクルを演習形式で学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 避難所におけるトイレ対策について、避難所におけるトイレの確保・管理ガイドラインを活用し、演習を実施することで、避難所ライフサイクルにおける対策の実際を訓練体験する。
9月27日 (金)	1限目 09:30～10:45	避難生活の支援	座学 災害時要配慮者を始めとする避難生活への支援対策を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 福祉避難所の確保を説明できる。 多様な避難先での支援を説明できる。 要配慮者対応体制の確立を説明できる。
	2限目 11:00～12:15	医療による被災者支援	座学 医療による被災者支援を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 医療による被災者支援の必要性を説明できる。 医療チームの活動を説明できる。 救護所の活動を説明できる。 医療支援のサイクルを説明できる。
	3限目 13:15～14:30	多様な主体による被災者支援／被災者支援の個別課題	座学 各種専門職能の連携による被災者支援と被災者支援の個別課題を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 多様な主体による支援を説明できる。 避難場所での孤立を説明できる。 遺体処理を説明できる。 帰宅困難者を説明できる。 広域避難者を説明できる。 災害関連死を説明できる。
	4限目 14:45～16:00	生活再建支援業務	座学 生活再建支援業務を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 生活再建支援業務の全体像を説明できる。 住家被害認定調査を説明できる。 罹災証明書の発行を説明できる。 被災者台帳の構築を説明できる。
	5限目 16:15～17:15	被災者支援のタイムライン策定（演習）／全体討論	演習 被災者支援のタイムラインを策定する。	<ul style="list-style-type: none"> 被災者支援のタイムライン策定を説明できる。 「被災者支援」理解の確認を図る。

【各講義の内容と学習目標】

日程と講義名		手法	単元の概要	学習目標
9月24日 (火)	1限目 09:30～10:45	復旧・復興総論	座学 災害からの復旧・復興の概念、行政・被災者等の取り組みから生活、産業、社会、市街地の復興プロセスとその全体像を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・復旧・復興の理念と構成を説明できる。 ・災害復興の事例に学ぶ復旧・復興のプロセスと法制度を説明できる。 ・事前復興の意義と可能性を説明できる。
	2限目 11:00～12:15	公共基盤の復旧 (基盤復興Ⅰ)	座学 被災した公共基盤の復旧・再建の理念とその 支援制度 、対応業務の進め方について、事例を踏まえて学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・公共基盤の被災の復旧の概要と事例を説明できる。 ・公共基盤の復旧プロセスと対策計画を説明できる。 ・公共基盤の復旧・復興事業制度とその概要を説明できる。
	3・4限目 13:15～14:30 14:45～16:00	仮設住宅 (生活復興Ⅰ)	座学 仮設住宅供給の意義と課題、借上型応急仮設住宅（みなし仮設）の 供給 及び 応急 仮設住宅の建設について、県と市町村の役割分担、建設用地の選定や確保、入居と管理運営、撤去等について事例に基づき学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・仮設住宅の供与の目的と制度概要を説明できる。 ・応急仮設住宅の仕組みと業務の概要を説明できる。 ・みなし仮設住宅の仕組みと業務の概要を説明できる。 ・応急仮設住宅の管理運営の取り組みと課題を説明できる。
	5限目 16:15～17:30	コミュニティ再生 (社会復興)	座学 被災地における 地域社会 の復興の重要性、被災地における地域コミュニティの役割と意義、地域社会の再生・復旧・活性化の取り組み方、復興基金の意義と 活用等 について、事例に基づき学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会の再生や活性化の意義が説明できる。 ・地域社会の再生の取り組みのプロセスが説明できる。 ・地域社会の再生の事例や制度（復興基金の使い方等）を説明できる。
9月25日 (水)	1限目 09:30～10:45	市街地の復興まちづくり (基盤復興Ⅱ)	座学 土地区画整理事業など基盤整備を 改良的に行い 、被災市街地を安全で快適な市街地に復興する被災地復興のまちづくりの意義と基礎知識、計画策定、 事業 推進の課題と 進め方 を事例に基づき学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の災害における被災市街地の復興とその意義と体系を説明できる。 ・被災市街地の復興まちづくりにおける地域住民の参加の意義と課題を説明できる。 ・復興事業の推進にあたって、地域住民の意向確認など復興モニタリングの重要性を説明できる。
	2限目 11:00～12:15	住まいの再建 (生活復興Ⅱ)	座学 被災者復興の基盤となる 住宅再建過程 について、多様な仮住まいの確保、住宅の修理・個別再建・共同再建の支援、被災マンション再建の課題と支援、災害公営住宅の供給など、住宅復興とその課題を体系的に学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・被災者による住まいの再建の理念と支援の概要を説明できる。 ・被災住宅・被災マンションの再建プロセスと意向調査のあり方を説明できる。 ・災害公営住宅の意義と留意点について説明できる。
	3限目 13:15～14:30	地域産業の復興と雇用確保 (産業復興)	座学 地域 経済 の活力を維持し、被災者の雇用を 確保 する視点から、被災地における産業復興の取り組みの 基本課題 とその支援策について、事例に基づいて基礎的な知識と 考え方 を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済の被災事例とその課題を説明できる。 ・地域産業復興の視点と支援のあり方を説明できる。 ・被災地における地域産業の復興事例と事業手法を説明できる。
	4限目 14:45～16:00	復旧・復興演習 (復旧・復興対策の事前準備)	演習 自らの自治体の地域防災計画の復旧・復興編における被災後の復旧・復興に取り組むための 不足事項や課題 を検証し、 大規模災害復興法に則した市町村、都道府県における復興対策の体系や体制 について、演習形式で学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・復興における対象項目（計画課題）を提案できる。 ・復旧・復興のプロセスを説明できる。 ・復興計画の策定過程における住民・被災者参加の方法・仕組みを提案できる。
	5限目 16:15～17:15	全体討論	演習 復旧・復興の 基礎知識の学びを活用するために 、事前に復旧・復興対策を準備しておく事前復興の取り組みについて、自治体における 可能性と課題を討議し 、研修で得たものふりかえる。	<ul style="list-style-type: none"> ・研修等を通じて学んだ「復旧・復興」の取り組みに関する質疑と確認をする。

防災スペシャリスト養成研修（有明の丘） 令和元年度 第1期
「指揮統制」コース

赤字：H30年度（第2期）からの変更箇所

【各講義の内容と学習目標】

日程と講義名		手法	単元の概要	学習目標
10月17日 (木)	1限目 09:30～10:45	座学	災害対策本部組織を統制していくための理論と基本構造を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 組織のリーダーが果たすべき責務を説明できる。 危機にあたって組織のリーダーが行う業務を説明できる。 効果的な危機対応のための対応手法を説明できる。
	2限目 11:00～12:15	座学	世界標準における危機対応組織の仕組みを学び、リーダーに求められる4つの役割を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 指揮者の機能と役割について説明できる。 事態対処の役割と機能について説明できる。 対策立案の機能と役割について説明できる。 後方支援の機能と役割について説明できる。 総務の機能と役割について説明できる。
	3限目 13:15～14:30	座学	大規模災害を経験したトップが指揮統制の本質を語る。	<ul style="list-style-type: none"> 経験を基にした指揮統制の実態と考え方を説明できる。
	4・5限目 14:45～17:30	演習	危機対応の世界標準に則して災害対策本部の統制のあり方を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 危機対応の世界標準について説明できる。 指揮統制を適用する場面について説明できる。 危機対応の6つの視点について説明できる。 教育・訓練の重要性について説明できる。
10月18日 (金)	1限目 09:30～10:45	座学	リーダーシップの考え方や指揮統制を行うための要求事項を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> リーダーシップの基本的な考え方を説明できる。 リーダーに求められる役割について説明できる。 災害対応時に求められるリーダー像を説明できる。
	2限目 11:00～12:15	座学	危機対応組織の参謀がどのようにトップを補佐しながら災害対策本部を運営していくのかについて学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 危機対応の組織について説明できる。 参謀組織の構築について説明できる。 情報の処理と状況判断について説明できる。 部局横断的な実施体制の整備について説明できる。 指揮の実行について説明できる。
	3・4限目 13:15～14:30 14:45～16:00	演習	地方公共団体の災害広報の事例を踏まえ、地方公共団体の長や幹部は、メディアを通して被災者等にどう向き合い、どう語るのかを学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の行政機関による広報の内容・方法等を説明できる。 災害時の広報活動を適切に実施するための情報処理のポイントを説明できる。 記者会見の進行・運営における留意事項を説明できる。
	5限目 16:15～17:15	演習	防災力アップのため、指揮統制について学んだことを、受講者のそれぞれの組織でどのように反映させるのかを考える。	<ul style="list-style-type: none"> 研修受講の目的を再認識する。 研修を通じて、学び、得たものを整理する。 研修を活かして次につなげることを認識する。

防災スペシャリスト養成研修（有明の丘） 令和元年度 第1期

「対策立案」コース

赤字：H30年度（第2期）からの変更箇所

【各講義の内容と学習目標】

日程と講義名		手法	単元の概要	学習目標
10月10日 (木)	1限目 09:30~10:45	座学	対策立案における対策立案の考え方と情報統括、活動サイクル、体制について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対策立案過程について説明できる。 ・ 当面の対応計画について説明できる。 ・ 対策立案能力について説明できる。
	2限目 11:00~12:15	座学	「当面の対応計画（インシデント・アクション・プラン）」の果たすべき役割と基本的な構造、立案のプロセスについて学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画立案が扱う範囲を説明できる。 ・ 当面の対応計画について説明できる。 ・ 状況認識の統一について説明できる。 ・ 目標による管理について説明できる。 ・ 資源管理について説明できる。 ・ 当面の対応計画の構造について説明できる。 ・ 責任担当期間計画について説明できる。 ・ 災害対策本部の進め方について説明できる。
	3限目 13:15~14:30	座学	GISによる統合された情報提供の必要性とISUTの有効性について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ GISの必要性を説明できる。 ・ GISとは何かを説明できる。 ・ 事例を説明できる。 ・ GISを活用するためのポイントを説明できる。 ・ 統合された情報システムの構築に向けて説明できる。 ・ 大規模災害時の国による情報集約支援（ISUT）の仕組みについて説明できる。
	4・5限目 14:45~16:00 16:15~17:30	演習	災害発生後の限られた情報の中で状況を推測し、対応方針を検討し、計画を立案し、活動を調整しながら、災害対策本部会議において対策を決定する手法を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害対策本部の運営について説明できる。
10月11日 (金)	1・2限目 09:30~10:45 11:00~12:15	座学	発災直後に各省庁から提供される具体的な支援の内容について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 政府の諸機関の活動方針について説明できる。 ・ 状況に応じて政府の資源を適切に活用する方法について説明できる。 ・ 災害応急期に実施される緊急消防援助隊の活動について説明できる。 ・ 災害応急期に実施される警察災害派遣隊の活動について説明できる。 ・ 災害応急期に実施される自衛隊の活動について説明できる。 ・ 災害応急期に実施される海上保安庁の活動について説明できる。 ・ 災害応急期に実施されるTEC-FORCEの活動について説明できる。 ・ 災害応急期に実施されるDMATの活動について説明できる。 ・ 災害応急期に実施される内閣府の現地対策本部の活動について説明できる。
	3・4限目 13:15~14:30 14:45~16:00	演習	災害対応計画の果たすべき役割と基本的な構造、マニュアルの作成について、災害対応の事例を基に演習形式で学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前の対応計画の考え方について説明できる。 ・ 災害対応業務を整理することができる。 ・ 災害対応項目を整理することができる。 ・ 災害対応とプロジェクトマネジメントについて説明できる。 ・ 防災行動計画（タイムライン）について説明できる。 ・ 業務の階層化と業務フローの可視化について説明できる。 ・ 災害対応マニュアル作成手法を説明できる。 ・ WBS M/ACEを利用できる。
	5限目 16:15~17:15	演習	災害対応マネジメントにおける計画立案について学んだことを、災害対策本部運営にどのように反映させるのかを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修受講の目的を再認識する。 ・ 研修を通じて、学び、得たものを整理する。 ・ 研修を活かして次につなげることを認識する。

防災スペシャリスト養成研修（有明の丘） 令和元年度 第1期
「人材育成」コース

赤字：H30年度（第2期）からの変更箇所

【各講義の内容と学習目標】

日程と講義名		手法	単元の概要	学習目標	
10月1日 (火)	1限目 09:30～10:30	人材育成総論	座学	人材育成の必要性や戦略、規定事項を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人材育成の必要性を説明できる。 ・ 人材育成の規定事項について説明できる。 ・ 人材育成の手法の概要について説明できる。 ・ 人材育成の対象とポイントを説明できる。 ・ 人材育成のプログラム化を説明できる。
	2限目 10:45～12:15	訓練・研修の実際	座学	国や地方公共団体等が実際に実施している訓練や研修の事例を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国が実際に実施している訓練の事例を説明できる。 ・ 地方公共団体が実際に実施している訓練の事例を説明できる。 ・ 各種研修機関が実施している研修の事例を説明できる。 ・ 人材育成プログラムを実際に作成している事例を説明できる。
	3限目 13:15～14:30	訓練・研修企画手法	座学	防災訓練・研修を企画する際のポイントを学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練・研修の体系を説明できる。 ・ 各種防災訓練・研修の特徴を説明できる。 ・ 防災訓練・研修の企画と留意点を説明できる。
	4・5限目 14:45～16:00 16:15～17:30	訓練企画運営実践Ⅰ (状況付与型図上演習)	演習	訓練手法のうち状況付与型図上演習の一つである災害対策本部運営訓練を経験すると共に、様々なシナリオを用いた状況付与型図上演習の考え方を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 状況付与型図上演習の内容を説明できる。 ・ 状況付与型図上演習の企画の考え方を説明できる。 ・ 状況付与型図上演習の評価の考え方を説明できる。
10月2日 (水)	1限目 09:30～10:45	地域防災リーダーの育成	座学	地域における防災リーダーの育成の意義と研修の企画、実施手法を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の防災リーダーの育成に関する基本的な考え方を説明できる。 ・ 地域の防災リーダーの育成に関する留意点を説明できる。
	2・3限目 11:00～12:15 13:15～14:30	訓練企画運営実践Ⅱ (討議型図上演習)	演習	訓練手法のうち討議型図上演習の一つであるエスノグラフィー演習を経験すると共に、様々な素材を用いたケースメソッドの考え方を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 討議型図上演習（災害エスノグラフィー演習）の内容を説明できる。 ・ 様々な素材を用いた討議型図上演習の内容や考え方を説明できる。 ・ 討議型図上演習を実施する上での留意点を説明できる。
	4・5限目 14:45～16:00 16:15～17:15	人材育成プログラム 作成演習	演習	人材育成プログラムの作成手法や留意点について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人材育成プログラムの作成方法や留意点を説明できる。 ・ 様々な訓練・研修を組み合わせた人材育成プログラムを作成できる。

防災スペシャリスト養成研修（有明の丘） 令和元年度 第1期

「総合監理」コース

赤字：H30年度（第2期）からの変更箇所

【各講義の内容と学習目標】

日程と講義名		手法	単元の概要	学 習 目 標
10月3日 (木)	1限目 09:30～10:45	総合防災政策	座学 総合的に防災政策を推進していくことの基本的な考え方を予防対策から応急対策への流れに沿って学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災政策の重要性を説明できる。 ・ 予防対策に関する防災政策の基本的な考え方を説明できる。 ・ 応急対策に関する防災政策の基本的な考え方を説明できる。 ・ 地域の防災力向上の基本的な考え方を説明できる。
	2・3限目 11:00～12:15 13:15～14:30	総合的な被害抑止施策の実施	座学 水害や土砂災害、地震などの被害を抑止するための総合的な対策について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水害をどのように防ぐのか総合的な水防対策を説明できる。 ・ 土砂災害をどのように防ぐのか砂防事業の方針と地域の課題を説明できる。 ・ 建築物に対する耐震化と室内安全対策について説明できる。 ・ 都市防災事業の先進事例を説明できる。
	4限目 14:45～16:00	リスク評価に基づく災害対応の検証	座学 防災アクションプランの策定手法であるリスク評価→施策目標の設定→事業評価指標の設定→進捗管理→検証→事業見直しといったサイクルについて学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ リスク評価と被害想定ของ考え方について説明できる。 ・ リスク評価に基づく防災政策への反映について説明できる。
	5限目 16:15～17:30	防災政策演習	演習 具体的な被害想定を基に、どのような防災政策を立案して推進していくべきかを演習形式で学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 被害想定を基にした防災政策の立案方法を説明できる。 ・ 減災目標を定めた防災政策の推進手法を説明できる。 ・ 災害予防対策の留意点と課題を説明できる。
10月4日 (金)	1限目 09:30～10:45	応急対策の実態	座学 災害対策本部における重要業務と応急活動の実態について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害対策本部における災害応急活動の実態について説明できる。 ・ 広域防災拠点ネットワークと緊急輸送路ネットワークの考え方について説明できる。 ・ 国や都道府県、市区町村、各種関係機関との広域応援の考え方について説明できる。 ・ 自主防災組織や企業など民間との連携について説明できる。
	2限目 11:00～12:15	大規模災害の検証と対応	座学 大規模災害がどのように検証され、どのような対応方針が示されているのかを学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近年の災害対応と検証を説明できる。
	3・4限目 13:15～14:30 14:45～16:15	災害対策本部体制	演習 災害対策本部体制を構築するために必要な体制、空間レイアウトなど事前に準備すべきことを学び、災害対策本部運営の流れと心構えを演習形式で学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害対応におけるプロジェクトマネジメントとしての災害対策本部体制の枠組みを説明できる。 ・ 災害対策本部体制を構築するために必要な組織を説明できる。 ・ 災害対策本部体制に求められる機能を説明できる。 ・ 災害対策本部に必要な空間レイアウトを説明できる。 ・ 災害対策本部運営の重要な流れを説明できる。 ・ 災害対策本部運営の心構えを説明できる。
	5限目 16:30～17:15	全体討論	演習 総合防災政策立案について学んだことを、受講者がそれぞれの組織でどのように反映させるのかを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修受講の目的を再認識する。 ・ 研修を通じて、学び、得たものを整理する。 ・ 研修を活かして次につなげることを認識する。